

平成28(2016)年度活動報告



2016年9月17日, 斜里町以久科海岸に漂着したハナゴンドウ, 全長約3m. この地域では珍しい種類で鯨類の専門機関で分析調査しています.

運営	80
教育普及	82
調査研究, 資料収集	87
文化財保護	89

運営

1. 投資的事業

事業名	予算(千円)	内容	担当
博物館キッズ育成事業	527	小・中学生を対象に年間を通じてメンバーを固定、自然観察などの企画を年に9回実施する	村上
チャシコツ崎遺跡等学術発掘調査事業	7,324	平成25年度から継続しているチャシコツ崎遺跡群の学術発掘調査事業	松田
本館ファンヒーター修繕事業	258	老朽化したファンヒーターの修繕	村上
特別展資料収集開催事業	1,327	知床のヒグマの生態や保護管理の課題を紹介する特別展の開催	山中
本館展示更新事業	691	展示室内の壁紙交換と漁業コーナーへの映像展示導入	村上
博物館収蔵物移転事業	3,664	老朽化した施設から保管していた資料を移動	松田

2. 予算(当初)

博物館費

費目	予算(千円)
報酬	2,291
共済費	1,194
賃金	6,942
報償費	220
旅費	1,030
需用費	9,196
消耗品費	1,788
印刷製本費	1,337
燃料費	1,032
修繕料	1,287
光熱水費	3,659
飼料費	93
役務費	1,339
通信運搬費	466
手数料	855
保険料	18
委託料	2,592
工事請負費	2,160
使用料及び賃借料	1,096
原材料費	444
備品購入費	896
負担金補助及び交付金	40
公課費	17
合計	29,457

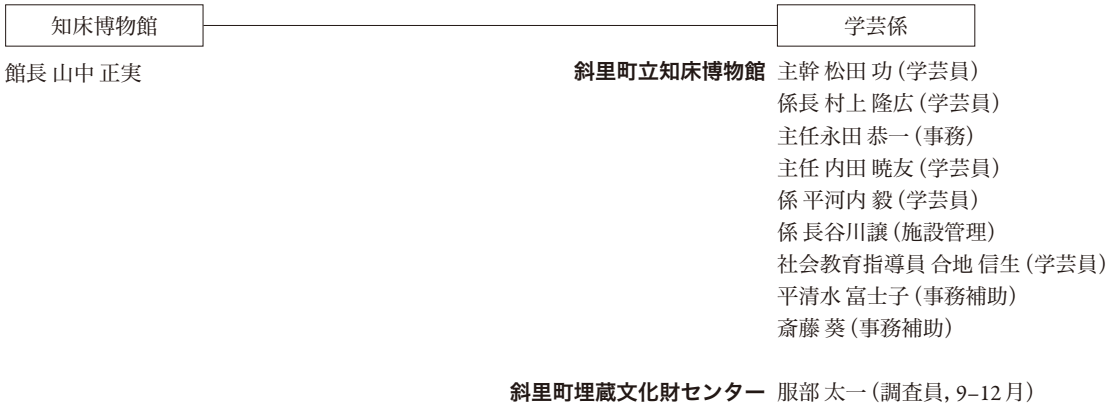
文化財保護費

費目	予算(千円)
報酬	66
賃金	756
旅費	236
需用費	454
消耗品費	84
燃料費	22
修繕料	50
光熱水費	298
役務費	38
通信運搬費	38
委託料	175
負担金補助及び交付金	105
合計	1,830

町内遺跡発掘調査費

費目	予算(千円)
報酬	40
共済費	14
賃金	4,481
旅費	430
需用費	235
消耗品費	132
印刷製本費	13
燃料費	90
役務費	4
通信運搬費	4
委託料	936
使用料及び賃借料	266
工事請負費	918
合計	7,324

3. 組織と人員



博物館協議会

会長	高木 壽一	委員	野田坂 正法	村上 涼子	穴倉 勝也	滝澤 素子
副会長	岩見 慶一		吉田 みつ子	橋本 勝	佐竹 要	

文化財調査委員会

会長	島多 哲夫	副会長	河面 正吾	委員	門馬 恵彦	桑島 繁行	竹川 智恵
----	-------	-----	-------	----	-------	-------	-------

4. 博物館利用状況

入館者数

月	一般	小中	幼児	合計(有料)	開館日数
4月	487	106	37	630(259)	26
5月	654	109	44	807(427)	26
6月	830	110	24	964(454)	26
7月	1,604	347	152	2,103(647)	28
8月	1,297	419	98	1,814(988)	26
9月	898	78	43	1,019(509)	27
10月	683	53	45	781(385)	27
11月	349	47	10	406(201)	24
12月	351	43	11	405(136)	25
1月	304	57	23	384(187)	21
2月	627	84	18	729(403)	23
3月	712	129	42	883(254)	26
合計	8,796	1,582	547	10,925(4,850)	305

団体入館者

月	町内団体		町外団体		合計(有料)	
	件	人数	件	人数	件	人数
4月	1	67	2	36	3(2)	103(34)
5月	0	0	5	116	5(5)	116(108)
6月	1	55	4	98	5(3)	153(95)
7月	4	113	5	123	9(5)	236(116)
8月	2	47	6	182	8(6)	229(166)
9月	3	79	4	108	7(3)	187(92)
10月	1	21	5	110	6(5)	131(103)
11月	1	14	3	58	4(3)	72(55)
12月	0	0	3	75	3(3)	75(71)
1月	0	0	3	68	3(3)	68(58)
2月	2	79	6	175	8(6)	254(167)
3月	2	81	0	0	2(0)	81(0)
合計	17	556	46	1,149	61(44)	1,705(1,065)

教育普及

1. 企画展

期日	題名	内容	参加者	担当
(特別展) 2月1日-3月31日	ヒグマ—その現在・過去・未来	ヒグマの考古, 形態と生態, 保護管理手法	1,612	山中
(ロビー展) 4月8-24日	北海道を大調査! 環境DNAでイトウを探せ!	北海道大学環境DNAチームによる移動展	297	村上
4月27日-5月29日	極北の芸術家—カナダ・イヌイトの版画展	北方民族博物館による移動展	810	松田
9月1日-10月16日	はたおりの会作品展	博物館を活動の場とするはたおりサークルの作品展	1,490	松田
12月1日-1月8日	チャシコツの出土資料	チャシコツ岬上遺跡出土の古銭や土器など	789	平河内
(移動展) 7月21日-8月31日(知床第一ホテル)	知床の樹木	押し葉や木の実で知床の樹木を紹介	-	内田
		合計6事業	4,998	

2. 講演会

期日	題名	講師	内容	参加者	担当
(シンポジウム) 6月12日	北海道と北方四島の希少鳥類—シマフクロウ・タンチョウ・オジロワシの今を知る	百瀬邦和・コズロフスキー E・白木彩子・山本純郎・早矢仕有子・斎藤慶輔・表溪太・竹中健・福地壮太	NPO 法人北の海の動物センター主催のシンポジウムに協力, 会場提供	110	村上
(講演会) 8月31日	蟹気楼のすべて!—300年先まで残したい斜里の「気象遺産」	佐藤トモ子	蟹気楼の基礎地域から観光利用, 文化史などの紹介	23	村上
10月6日	人と自然をつなぐアイヌの物語世界	結城幸司	自然とともに生きてきたアイヌの精神文化	35	松田
10月29日	軽井沢のクマ事情を変えた2つの秘策	田中順平&タマ	軽井沢におけるゴミ管理とパトローロール, 追払いによるクマ管理	57	山中
(特別展開連続講演会) 3月1日	ひぐま☆デイズ1	山中正実	こんなに簡単! ヒグマによる事故の防ぎ方	22	山中
3月2日	ひぐま☆デイズ2	前田尚大・増田泰	知床半島におけるヒグマ管理の現状とこれから—知床半島ヒグマ管理計画の改定に向けて	27	山中

期日	題名	講師	内容	参加者	担当
3月4日	ひぐま☆デイズ3	澤田誠吾	島根県における地域一体となったクマ対策—獣害に強い地域づくりを目指す	15	山中
3月5日	ひぐま☆デイズ4	佐藤喜和	大都市札幌におけるヒグマ対策とその課題	16	山中
			合計5事業(5事業実施)	305	

3. 博物館講座

期日	講座名	内容	場所	参加者	担当
4月30日	木星と春の星座観察会	悪天のため中止	博物館	-	合地
5月29日	博物館キッズ1	春のお花見ツアー	町内	12	内田
6月24日	ミュージアムカフェ「コウモリカフェ」	近藤憲久氏によるコウモリの話	博物館	11	村上
6月26日	博物館キッズ2	ホエールウォッチング	羅臼	13	村上
7月16日	博物館キッズ3	流木でけっさくを作ろう!	斜里	13	永田
7月27日	夏休み体験講座1	はたおり体験講座(講師:はたおりの会)	博物館	14	松田
7月28日	夏休み体験講座2	石磨き講座	埋文セ	12	合地
7月29日	夏休み体験講座3	トンボ玉作り体験	博物館	11	平河内
7月27日 -8月21日	博物館クイズラリー	展示を利用したクイズ	博物館	401	村上
7月30日	知床岬町民ボランティア調査	台地上の草原での植物開花調査	知床岬	13	山中
	夏の星座と惑星観察会	悪天のため中止		-	合地
8月3日	夏休み体験講座4	シカ肉をおいしく食べちゃおう	博物館	8	山中
8月4日	博物館キッズ4	採って作って甲虫標本	博物館	11	松田
8月7日	夏休み体験講座5	川の観察会(講師:斜里川を考える会)	博物館	6	村上
8月12日	ペルセウス座流星群観察会	悪天のため中止		-	合地
8月21日	博物館キッズ5	悪天のため中止		-	内田
9月15日	ミュージアムカフェ「英国の自然」	Ben Averis氏による英国の植生の紹介	博物館	13	村上
9月17日	チャシコツ岬上遺跡見学会	発掘中のチャシコツ崎の上にある遺跡を見学	ウトロ	19	松田
9月18日	道東最大級の柱状節理と1億年前の石	網走や北見の地質巡検	町外	6	合地
10月15日	はたおり体験講座	ロビー展「はたおりの会作品展」関連講座, 講師:はたおりの会	博物館	3	松田
10月16日	博物館キッズ6	知床の森で秋を満喫	ウトロ	7	山中
	温泉の不思議	知床の温泉の特徴と地質現象	知床	5	合地
10月29日	博物館キッズ7	宝石・化石みつけ隊	知床	14	合地
10月30日	ネクタイピン・ペンダントをつくろう	ヒスイを磨いてアクセサリーを作製	埋文セ	5	合地
11月19日	博物館キッズ8	博物館うらがわ探検隊	博物館	10	山中
11月26日	秋の星座観察の夕べ	悪天のため中止		-	合地
11月29日	ミュージアムカフェ「古代チャシコツカフェ」	発掘調査からみえてきたオホーツク文化について	博物館	12	平河内

期日	講座名	内容	場所	参加者	担当
12月10日	ミュージアムカフェ「湖沼の生き物カフェ」	高橋法人氏による淡水中でみられる水生生物の紹介	博物館	8	松田
1月20日	冬の星座観察会	冬の大三角などを望遠鏡で観察	博物館	4	合地
1月25日	ミュージアムカフェ「南極カフェ」	高橋学察氏による極地の自然の紹介	博物館	13	村上
1月29日	博物館キッズ9	冬を楽しむ、かんじき森歩き	ウトロ	14	村上
2月25日	ミュージアムカフェ「古代人の食卓」	服部太一氏による遺跡から発掘された骨の紹介	博物館	13	平河内
3月24日	ミュージアムカフェ「知床の火山」	知床半島の火山活動史	博物館	11	合地
		合計33講座企画(28講座実施)		682	

4. 生涯学習連携事業

学校教育連携, 公民館講座

期日	事業名	内容	場所	担当
4月27日	斜里小4年歴史学習	施設見学と質問	博物館	松田
5月11日	斜里高知床自然概論	大栄湿地林の観察	大栄	内田
5月17日	ウトロ小2年総合学習	両棲類の観察と飼育	ウトロ	村上
6月8日	斜里中世界遺産学習事前学習1	船による知床の自然学習の事前学習	斜里中	村上
6月28日	斜里高校歴史文化ゼミ	縄文土器について	博物館	松田
6月29日	ウトロ学校3年理科学習	校庭の植物観察イネ科編	ウトロ	内田
6月30日	ウトロ学校世界遺産学習事前学習	船による知床の自然学習の事前学習	ウトロ学校	山中
7月7日	ウトロ学校世界遺産学習	船による知床の自然学習	ウトロ	山中
7月12日	斜里町教育振興会理科部会	知床の生物と環境, 環境保全の取り組み	ウトロ	村上
7月19日	ウトロ学校1年生活科	斜里町の自然	博物館	村上
7月28日	ウトロ学校教職員世界遺産現地学習	船による知床の自然学習	ウトロ学校	山中
8月24日	斜里高知床自然概論	生態系保全と漁業	斜里高	山中
8月25日	ウトロ学校3, 4年生社会科見学	斜里町の歴史	博物館	松田
8月31日	斜里高知床自然概論	会場, 機材, 資料提供	博物館	-
9月2日	斜里中世界遺産学習事前学習2	船による知床の自然学習の事前学習	斜里中	村上
9月7日	ウトロ学校世界遺産学習事後学習	船による知床の自然学習の事後学習	ウトロ学校	村上
9月13日	斜里中世界遺産学習 斜里高史跡体験事前学習	知床の自然保護管理の現地学習 遺跡見学の事前学習	ウトロ 斜里高	村上 松田
9月14日	斜里高史跡体験学習 斜里高知床自然概論	チャシコツ岬上遺跡や町内史跡の見学 分類と同定	ウトロ 博物館	松田 内田
9月15日	大谷幼稚園自然観察	幼稚園周辺の自然観察	町内	村上
9月16日	斜里高史跡体験学習	チャシコツ岬上遺跡や町内史跡の見学	ウトロ	松田
9月21日	斜里高知床自然概論	ウトロ, 知床五湖とヒグマ対策	ウトロ	村上
9月27日	ウトロ学校2年生活科見学	博物館で働く人の工夫や努力	博物館	村上
9月29日	斜里中職場体験学習	博物館の仕事を体験する	博物館	村上
10月12日	斜里中世界遺産学習事後学習1	知床の自然学習の事後学習	斜里中	村上
10月13日	斜里中世界遺産学習事後学習2	知床の自然学習の事後学習	斜里中	村上

期日	事業名	内容	場所	担当
11月16日	斜里高知床自然概論	会場、機材、資料提供	博物館	-
11月25日	斜里中世界遺産学習事後学習3	知床の自然学習の事後学習	斜里中	村上
1月26日	斜里町自治会連合会児童部研修会	しゃりっこらんどのためのトンボ玉作成	博物館	合地
2月9日	斜里町3年生社会科見学	博物館見学と施設や仕事についての質問	博物館	松田
2月14-17日	斜里町子ども芸術フェスティバル解説	アイヌ民族資料の貸出しと解説	ゆめホール	平河内
2月23日	朝日小3年生社会科見学	博物館の古い道具の学習	博物館	松田
		合計33事業		

生きがい大学専門課程

期日	会場	テーマ	受講生	担当
4月14日	博物館	ロシア・欧州カワウソ調査紀行	12	村上
5月12日	博物館	斜里のマメ科植物	17	内田
5月26日	博物館	アイヌ文化成立の前夜	16	平河内
6月9日	博物館	斜里の昆虫	16	松田
6月23日	博物館	斜里の帰化植物	15	内田
7月7日	ゆめホール	最近の地震研究	14	合地
9月1日	ゆめホール	人々を魅了する毛皮獣、イタチ類の世界	13	村上
9月8日	町内	知床周辺の地質を探るバスツアー	9	合地
10月6日	博物館	知床半島のヒグマ管理計画と現状	10	山中
11月16日	ウトロ漁村センター	人々を魅了する毛皮獣、イタチ類の世界	12	村上
11月17日	博物館	発掘調査でわかること—チャンコツ岬上遺跡	12	松田
		合計11講座	146	

5. 研修受入れ

学芸員実習

期日	所属大学	内容	参加者	担当
9月6-16日	北海道大学	大学における学芸員資格取得実習	1	各学芸員
	札幌市立大学		1	
	東京農業大学		1	

インターンシップ

期日	所属大学	内容	参加者	担当
7月28日-8月13日	北海道情報専門学校	資料整理、講座開催補助	1	各学芸員
8月5-17日	北海道大学		1	
8月30日-10月1日	札幌国際大学		1	
2月14日-3月4日	明治大学		1	

大学卒業論文等指導

期日	所属大学	内容	参加者	担当
4月1日-3月31日	東京農業大学	エゾクロテンの卒業論文研究	1	村上
4月1日-3月31日	北海道大学	ヒグマの移動分散の卒業論文研究	1	村上

教職員研修

期日	所属大学	内容	参加者	担当
7月26-28日	網走市立第三中学校	初任者段階教員研修	1	村上
7月29-31日	斜里高校	初任者段階教員研修	1	村上
8月3-5日	斜里中学	初任者段階教員研修	1	村上

6. 出版, 広報

出版物名	発行	内容	担当	規格	対象	部数
タンネウシ293	4月24日	博物館情報、行事案内	平清水	A4, 2 pp	会員他	500
タンネウシ294	5月24日	博物館情報、行事案内	平清水	A4, 2 pp	会員他	500
タンネウシ295	6月23日	博物館情報、行事案内	平清水	A4, 2 pp	会員他	500
タンネウシ296	7月24日	博物館情報、行事案内	平清水	A4, 2 pp	会員他	500
タンネウシ297	8月25日	博物館情報、行事案内	平清水	A4, 2 pp	会員他	500
タンネウシ298	9月23日	博物館情報、行事案内	平清水	A4, 2 pp	会員他	500
タンネウシ299	10月24日	博物館情報、行事案内	平清水	A4, 2 pp	会員他	500
タンネウシ300	11月25日	博物館情報、行事案内	内田	A4, 2 pp	会員他	500
タンネウシ301	12月25日	博物館情報、行事案内	平清水	A4, 2 pp	会員他	500
タンネウシ302	1月25日	博物館情報、行事案内	平清水	A4, 2 pp	会員他	500
タンネウシ303	2月23日	博物館情報、行事案内	平清水	A4, 2 pp	会員他	500
タンネウシ304	3月24日	博物館情報、行事案内	平清水	A4, 2 pp	会員他	500
知床博物館研究報告 39	3月31日	斜里および周辺地域の研究成果	内田	B5, 118 pp	一般	600
知床博物館研究報告 特2	3月31日	知床世界遺産地域保全事業報告書	村上	B5, 120 pp	一般	800
YouTube	随時	自然情報ほか	村上		一般	
facebook	随時	行事、ニュースほか	内田		一般	
Line	随時	行事、ニュースほか	平河内		一般	
Instagram	随時	行事、ニュースほか	村上		一般	
ウェブサイト	随時	施設、行事、出版物ほか	内田		一般	



学芸員資格取得のための館務実習 (2016年9月11日)



講演会「軽井沢のクマ事情を変えた2つの秘策」(田中順平氏&タマ, 2016年10月29日)

調査研究, 資料収集

1. 調査研究

調査名	期間	内容	担当
埋蔵文化財調査 チャシコツ岬上遺跡 共同調査	8-10月	町教委による学術発掘調査	松田
チシマコハマギクの分布調査	通年	国内とロシアの種の比較検討	内田
ナニワズの分布調査	通年	国内とロシアの種の比較検討	内田
知床半島先端部地区ヒグマ個体群保護管理調査	6-11月	ルシャ地区のヒグマをDNAと外見から個体識別し、血縁関係や移動分散を調査	山中
エゾシカの個体群管理に関する研究	6-3月	個体数調整のための各種手法の検討等	山中
個別調査			
植物相調査	通年	町内および知床半島の植物相調査	内田
町内中小型哺乳類相調査	通年	町内の小型哺乳類の動物相調査	村上
昆虫相調査	通年	町内および知床半島の昆虫相調査	松田
土器の胎土分析	通年	土器をX線で分析し、焼成温度を推察	合地
石斧調査	通年	石斧の石材による流通ルートの解明	合地
オホーツク文化期の遺跡, 資料調査	通年	道北から根室地方で出土したオホーツク文化期の遺跡および遺物資料の調査	松田 平河内
石斧調査	通年	石斧の石材による流通ルートの解明	合地

2. 資料収集

新規受入資料

地学	植物	動物	考古	歴史	民俗	合計
7	2	57	2	56	54	178



博物館キッズ「ホエールウォッチング」(羅臼町, 2016年6月26日)



ミュージアムカフェ「古代人の食卓」(服部太一氏, 2017年2月25日)

3. 個別活動

山中正実 (担当: 動物)

(1) 報文

山中正実・増田泰・石名坂豪, 2016, 知床国立公園におけるヒグマの保護管理の近年の進展と課題, 知床博物館研究報告特別号 1: 55-78.

(2) 館外活動

2016年6月10日, 環境省「知床世界自然遺産地域科学委員会平成28年度第1回知床半島ヒグマ保護管理方針検討会議」委員, 札幌.

2016年6月28日, 環境省「知床世界自然遺産地域科学委員会平成28年度第1回エゾシカ・陸上生態系ワーキング会議」委員, 釧路.

2016年9月15日, 環境省「知床世界自然遺産地域科学委員会平成28年度第2回知床半島ヒグマ保護管理方針検討会議」委員, 札幌.

2016年7月26日, 北海道環境生活部「平成28年度第1回北海道ヒグマ保護管理検討会」構成員, 札幌.

2016年8月19日, 環境省「平成28年度第1回知床半島先端部地区利用の心得点検討部会」構成員, 斜里.

2016年9月23-26日, 日本哺乳類学会大会「知床半島におけるヒグマの個体群動態のモニタリングの試み」ポスター発表, 茨城.

2016年10月7日, 環境省「知床世界自然遺産地域科学委員会平成28年度第2回エゾシカ・陸上生態系ワーキング会議」委員, 釧路.

2016年11月5日, 「野生生物と社会」学会大会「地域に根ざした新たな野生動物管理体制のあり方について」テーマセッション主催, 東京.

2016年11月15日, 環境省「平成28年度第2回知床半島先端部地区利用の心得点検討部会」構成員, 羅臼.

2016年12月9日, 環境省「知床世界自然遺産地域科学委員会平成28年度知床遺産地域におけるエゾシカ採食圧に関する植生指標部会」委員, 札幌.

2017年1月12日, 環境省「知床世界自然遺産地域科学委員会平成28年度第3回エゾシカ・陸上生態系ワーキング会議」委員, 釧路.

2017年1月19日, 環境省「知床世界自然遺産地域科学委員会平成28年度第3回知床半島ヒグマ保護管理方針検討会議」委員, 札幌.

2017年3月24日, 北海道環境生活部「平成28年度第2回北海道ヒグマ保護管理検討会」構成員, 札幌.

合地信生 (担当: 地質)

(1) 報文

なし

(2) 館外活動

2017年3月3日, 北海道総合地質学研究センター第3回研究セミナー「考古学と岩石学の接点&プラタモリ知床」講師, 札幌.

松田功 (担当: 考古, 昆虫)

(1) 報文

なし

(2) 館外活動

なし

村上隆広 (担当: 動物)

(1) 報文

村上隆広, 2016, 知床半島に流れつく漂着ごみの特徴, 知床博物館研究報告 38: 29-32.

村上隆広, 2016, IWMC2015, 知床エクスカッションおよびタウンミーティング実施記録, 博物館研究報告特別号 1: 113-124.

(2) 館外活動

2016年8月3日, 外務省「日露隣接地域生態系保全協力プログラム推進委員会」委員, 羅臼.

2016年9月24日, 日本哺乳類学会大会「なぜ北海道のカワウソは絶滅したのか」口頭発表, 筑波.

2016年10月25-26日, 第4回日露隣接地域生態系保全協力ワークショップ「知床半島の陸生動物に気候変動が与える影響について」口頭発表, モスクワ.

2016年12月4日, 美幌町女性のつどい講演会「世界遺産知床ってほんとうは…?」講師, 美幌.

2017年2月22日, 外務省「日露隣接地域生態系保全協力プログラム推進委員会」委員, 札幌.

内田暁友 (担当: 植物)

(1) 報文

Tsutsumi C., Maeda A., Yamashita Y., Kurosawa T., Uchida A., Kuhara T. & Yukawa T. 2016. New records of *Liparis purpureovittata* (Orchidaceae) and identification of its mycorrhizal fungi. Bull. Natl. Mus. Nat. Sci., Ser. B 42: 95-102.

内田暁友, 2016, カムチャツカに植物を探す, FIELD NOTE, Arctic Circle 101: 14-17.

(2) 館外活動

2016年11月24日, 北海道新聞野生生物基金「第1回北海道フラワーズン2017実行委員・アドバイザー合同会議」アドバイザー, 札幌.

平河内毅 (担当: 歴史・民俗)

(1) 報文

平河内毅, 2016, 知床岬遺跡のコンプラ瓶, 知床博物館研究報告 38: 41-47.

(2) 館外活動

2016年5月26日, 中標津町文化スポーツ振興財団生涯学習講座ナカシベツ大学「アイヌ文化成立の前夜」講師, 中標津.

2017年3月14日, 知床羅臼町観光協会自然ガイド養成講座「ウトロ地域の文化遺産」講師, 羅臼.

文化財保護

1. 指定文化財

国指定文化財

名称	指定年月日	所在地
特別天然記念物 タンチョウ	昭和27(1952)年3月29日	地域を定めず, 主な生息地—北海道
天然記念物 オジロワシ	昭和45(1970)年1月23日	地域を定めず, 主な生息地—北海道
オオワシ	昭和45(1970)年1月23日	地域を定めず, 主な生息地—北海道
エゾシマフクロウ	昭和46(1971)年5月19日	地域を定めず, 主な生息地—北海道
クマガラ	昭和40(1965)年5月12日	地域を定めず, 主な生息地—北海道
ヒシクイ	昭和46(1971)年6月28日	地域を定めず, 主な生息地—北海道
マガン	昭和46(1971)年6月28日	地域を定めず, 主な生息地—北海道
カラフトルリシジミ	昭和42(1967)年5月2日	地域を定めず, 主な生息地—北海道

北海道指定文化財

名称	指定年月日	場所	所有者	
考古資料 斜里朱円周堤墓群出土品	平成25(2013)年3月29日	知床博物館	斜里町	29点
史跡 斜里朱円周堤墓群	昭和32(1957)年1月29日	朱円西76-1	斜里町	1.4 ha
朱円竪穴住居跡群	昭和42(1967)年6月22日	朱円国有林内	農林水産省	24.2 ha
天然記念物 オシシクシ粗粒玄武岩柱状節理	昭和48(1973)年3月14日	オシシクシ海岸	国土交通省 農林水産省	2.2 ha
斜里海岸の草原群落	昭和25(1950)年8月28日	美咲国有林内	農林水産省	96.0 ha

所有者が国の文化財の管理団体はいずれも斜里町。

斜里町指定文化財

名称	指定年月日	場所	所有者	種別
旧斜里神社拜殿	昭和51(1976)年11月8日	本町49番地2, 知床博物館	斜里町	有形
絵馬	昭和51(1976)年11月8日	本町49番地2, 知床博物館	斜里町	有形
歌枕額	昭和51(1976)年11月8日	本町49番地2, 知床博物館	斜里町	有形
津軽藩士死没者の供養碑	昭和57(1982)年7月1日	本町49番地, 町民公園	斜里町	有形
津軽藩士死没者の供養碑	昭和57(1982)年7月1日	朝日町4番地2	日蓮宗日照寺	有形
津軽藩士死没者の過去帳	昭和57(1982)年7月1日	本町47番地2	曹洞宗禅龍寺	有形
津軽藩士シャリ陣屋跡	昭和62(1987)年7月1日	本町52番地24	個人	史跡
津軽藩士墓所跡	昭和62(1987)年7月1日	本町49番地, 町民公園	斜里町	史跡
シャリ運上屋(会所)跡	昭和62(1987)年7月1日	港町8番地28	個人	史跡
斜里神社石灯籠	平成15(2003)年3月26日	本町44番地, 斜里神社境内	斜里神社	有形
来運1遺跡	平成24(2012)年8月29日	来運20番5他	斜里町	史跡

2. 登録文化財

名称	登録年月日	場所	所有者	種別
旧国鉄根北線越川橋梁	平成10(1998)年7月23日	字越川245番8他	斜里町	有形

3. 埋蔵文化財

国庫補助事業による保存目的の内容確認調査を1箇所
の遺跡で実施した。

チャシコツ岬上遺跡

登載番号: I-08-21. 国庫補助事業. 面積: 37 m². 期間:
2016 (平成 28) 年 8 月 30-10 月 8 日.

本遺跡は知床半島の中ほど、岬状に海に突き出した標高
50 m 以上の海岸段丘上に立地する古代の集落跡である。オ
ホーツク文化終末期-トピニタイ文化期にかけて営まれ、遺
跡内からは 31 軒の竪穴住居跡のほか、墓や配石遺構などさ
まざまな遺構が検出されている。平成 28 年度は 3 箇年にお
よび調査を継続していた竪穴住居 1 軒の完掘に加え、未調
査の平坦地、廃棄場と考えられる窪地にそれぞれトレンチを
設定して発掘調査を実施した。

調査の結果、竪穴住居跡はオホーツク文化終末期頃に

建てられたものであり、竪穴住居の焼失にともなって建築材
や床板材の一部が炭化した状態で残存していた。また、屋
内にはヒグマの四肢骨を主体とした骨塚が認められ、少なく
ともヒグマ 3 体分の体の骨が検出された。一方、平坦地のト
レンチから検出された配石遺構からは被熱したヒグマの歯
が出土したため、オホーツク文化終末期にはヒグマは部位に
よって儀礼の場が異なる可能性が示された。

また、もう一方のトレンチからは、魚骨を主体とするオホ
ーツク文化終末期の廃棄層中から神功開寶 (765 年初鑄) 1
枚が出土した。神功開寶は奈良朝廷が発行した貨幣であ
り、オホーツク文化の遺跡からの出土したものは本例のみで
ある。この発見により、北海道のオホーツク文化集団と本州
との交流の可能性が示されることとなった。

これまで遺跡の内容を確認するために継続してきた発掘
調査は平成 28 年度で完了したため、今後は発掘調査成果
をとりまとめ、遺跡の適切な保存と活用方法を検討し、将
来にわたって保護を図る予定である。



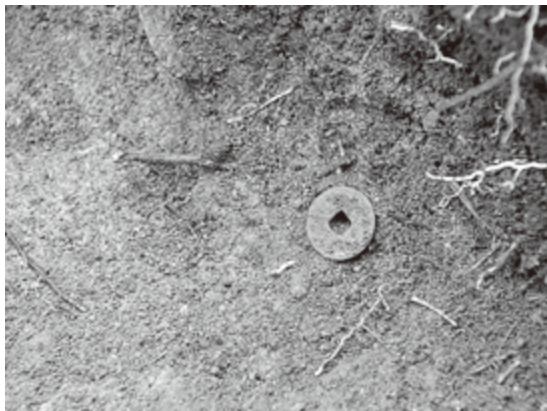
竪穴住居跡の調査風景 (2016 年 10 月 7 日)



配石遺構検出状況 (2016 年 9 月 13 日)



配石遺構で出土したヒグマの歯 (2016 年 9 月 8 日)



廃棄層中から出土した神功開寶 (2016 年 10 月 7 日)